



広報

No. 225

～ 文教のまち西原 ～

にしはら

町の世帯・人口

(平成2年10月現在)

世帯数	7,683戸
人口	25,671人
男	13,159人
女	12,512人
9月の人口移動	
出生 25件	死亡 8件
転入 74件	転出 76件
婚姻 10件	離婚 1件

編集・発行/西原町役場企画課(広報係) 西原町字嘉手苅112番地 ☎09894(5)4533 印刷/(協)丸正印刷



行政区改編で三十区を予定

行政区制度の見直しへ着手

町(平安恒政町長)では、昭和五十二年九月より実施していた現行行政区制度の見直しを検討するため、十月九日午後、西原町行政区制度改編検討委員会」を設置、委員十八名に対し委嘱状を交付した。

今回の行政区制度改編のねらいは、施行以来十三年目を迎える現行の行政区制度が、人口増加による都市化や生活様式の変化、通し番号の行政区名等に起因したことによって、地域の自治活動、伝統行事の停滞、なじみない行政区名といった新たな課題を抱えていることに対し、見直ししようというものである。

町の改編基本方針では①行政事務の円滑化②地域自治活動の活性化③町民参加と対話行政の推進が図れるものとする。

改編計画では①区画は大字単位とし百世帯以上で構成する地域は一行政区とする。②区界は、大字界を原則とし、国・県・町道、河

川など地理的、社会的条件を考慮する。

③住民の行政区所属は、生活本拠となる現住所を基準に決定、④行政区の名称は、番号制を廃止し固有名称で表示⑤土地表示の変更は行なわないとし、三十区に編成予定。

同検討委員会では、互選により平敷静男氏を委員長に、与那嶺浩氏を副委員長に選出、早速、町の事務局(町役場企画課)説明を受け、第一回検討委員会を開催し、行政区制度の改編に向けての審議を開始した。

なお、検討委員会委員は、次の通りです。(敬称略)

【行政区制度改編検討委員】

平敷静男(委員長)、与那嶺浩(副委員長)、新垣常夫、与那嶺義雄、座波進、長嶺由光、宮平定昌、城間期一、小川孝、大城盛孝、呉屋安信、新川雅懼、下地郁子、小川良夫、大城助徳、与儀博彦、城間正一、呉屋仁一

琉大附属小裏門付近に信号機

児童生徒の事故防止に寄与

琉球大学教育学部附属小学校（金城松栄校長）の裏門側（県道34号線・字上原）に信号機が設置され、十月十八日午前、その点灯式が行なわれた。

点灯式では、地元住民、PTA関係者多数が参加する中、比嘉浦添警察署長、小川町助役、琉大附属小PTA会長、金城同校長のそ

ろ、点灯式後、琉大附属小学校吹奏楽部（四十五名）が演奏する「お

れぞれのあいさつが行なわれた。

また、児童を代表して、宮里こうじ君が、「学校の行き帰りに裏門を利用してはいるが何度かあぶな

いことがあった。今日からは、安心して渡れます。」とお礼のこ

とを述べた。



琉大附小裏門に信号機設置
：10月18日 字上原（県道34号線）

どるポンポコリン」の軽快な曲に乗せて同校二年三組の生徒四十名を先頭に渡り初めが行われ、関係者より盛大な拍手を受けた。

平成二年度行政懇談会のお知らせ

各行政区巡回で十一月五日より実施

町（平安恒政町長）主催、「うまんちゅと語やびら」文教のまち」

平成二年度西原町行政懇談会の日程が決まりました。

本町では、これまで「対話行政」「町民参加」のまちづくりを推進するため、各種団体等との懇談会や各種シンポジウム等の公聴活動を実施してきました。

本年度は、町側の二班編成による各行政区の巡回行政懇談会を実施し、広く地域住民の声が公聴で

きる態勢で、十一月五日から開始します。

び場所等は、次の通りです。

行政懇談会開催日程及び場所

月 日	行政区	場 所
11 / 5 (月)	1	幸 地 公 民 館
	2	棚 原 公 民 館
11 / 6 (火)	3	徳 佐 田 公 民 館
	4	上 原 公 民 館
11 / 7 (水)	16	小波津集落センター
	6	翁 長 公 民 館
11 / 13 (火)	7	小 橋 川 公 民 館
	8	小 那 覇 公 民 館
11 / 14 (水)	9	九 区 自 治 会 事 務 所
	10	兼 久 公 民 館
1 / 16 (水)	11	与 那 城 公 民 館
	12	12 区 公 民 館
1 / 17 (木)	13	我 謝 公 民 館
	14	安 室 公 民 館
1 / 18 (金)	15	小波津団地集会所
	5	坂田ハイツ自治会事務所
1 / 21 (月)	17	西原ハイツ自治会事務所
	19	県営西原団地集会所
1 / 22 (火)	18	県営内間団地自治会事務所

時間はいずれも午後8時～10時

※日程については、都合により変更する場合があります。



町民陸上競技場整備工事でクワ入れ式
：10月1日 字翁長・呉屋地内

町民陸上競技場整備工事が着工

四〇〇メートルハコースとフィールド

町民陸上競技場整備工事の安全祈願祭が十月一日午前、同建設現場で、平安恒政町長、城間光雄町

議会議長、与那嶺浩町教育委員長をはじめ関係者多数出席のもと、工事関係者の協力で行われた。

町民陸上競技場は、町制施行記念事業の「西原運動公園」の整備事業の一環を成すもので、敷地面積二万千百平方メートル、総工費七億

五千万円で平成四年には完成予定。

その内、今回の整備内容は、面積一万八千百平方メートルで競技施設の四百メートルトラックハコースとフィールド部分、スプリングラーなどが整備され、完成すれば、サッカーや

ラグビー及びソフトボールなどの競技も可能となる。

平安町長は、「これまで、町民陸上競技大会やスポーツの振興の面で、中学校などのグラウンドを借用していたが、町民待望の陸上競技場が完成すれば、競技力の向上と町民スポーツの振興に大きな期待がもてます。工事期間中の安全と工期内完成を祈ります。」とあいさつした。

香典返し

▽那覇市繁多川一―一九―三四、仲宗根ウトさん故夫、太郎さんの香典返しとして町社協へ一〇万円。

▽字嘉手苅105番地、新川常次さん故母、カメさんの香典返しとして町社協へ一〇万円。

▽字幸地114番地、外間キヨ子さん故夫、三郎さんの香典返しとして町社協へ五万円。

わたしたちは、時間を守り、すすんであいさつをしましょう。

22名の農業委員決まる

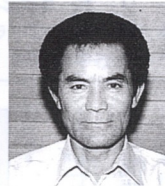
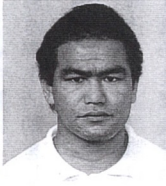
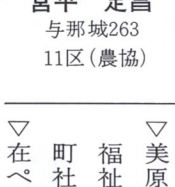
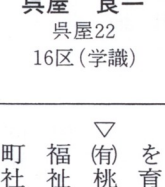
町選挙管理委員会(糸数雄介委員長)では、任期満了に伴う町農業委員会委員選挙の告示を九月十八日行い、選挙による定数十六名を立候補者数十六名により無投票で選出、九月二十七日に当選証書の付与式を行った。

更に、平安恒政町長は、農業委員会等に関する法律に基づき、町農業協同組合推薦の理事一名及び町議会推薦の学識経験者五名を選任し、十月三日、同六名に対する辞令を公布した。

なお、新農業委員二十二名の互選により、会長に長嶺由光氏、会長代行に新垣盛勇氏がそれぞれ選

※()は選出方法

任された。
委員の方々は次の通りです。

 比嘉 貞祐 棚原288 2区(選挙)	 仲宗根光清 幸地785 1区(選挙)	 与那嶺盛吉 幸地23 1区(選挙)	 新垣 盛勇 我謝687 13区(選挙)	 長嶺 由光 津花波19 7区(選挙)	
 花城 清雄 与那城302-17 9区(選挙)	 新川 常順 小那覇29 8区(選挙)	 仲宗根正光 翁長479 6区(選挙)	 呉屋 良光 翁長275-2 6区(選挙)	 喜納 昌吉 上原91 4区(選挙)	
 呉屋 定三 呉屋109 16区(選挙)	 比屋根和憲 池田8 14区(選挙)	 平良 正一 我謝424-2 13区(選挙)	 喜屋武正広 我謝241-52 12区(選挙)	 小橋川賢一 与那城78-5 11区(選挙)	
 宮平 定昌 与那城263 11区(農協)	 呉屋 良一 呉屋22 16区(学識)	 与那嶺雅彦 小波津65 16区(学識)	 新垣 実 我謝100 13区(学識)	 稲福 恭信 上原245-2 4区(学識)	
 佐久田朝祐 徳佐田165 3区(学識)					 小波津政文 小波津212 16区(選挙)

平成二年第六回町議会定例会

平成二年第六回町議会定例会が九月十八日から二十一日の四日間日程で開かれ、町当局から提出された七件の議案は、常任委員会及び決算審査特別委員会などを経て、原案通り、全会一致で可決されました。

①平成元年度町一般会計歳入歳出

寄付金

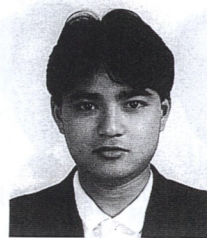
- ▽字我謝633番地、小橋川潔さん、米寿を記念し町社協へ二〇万円。
- ▽字我謝692番地、平良カメさん、米寿を記念し町社協へ一〇万円。
- ▽字呉屋97番地、小川澄子さん、町農協退職を記念し、町社協、町老く連合会、町心身障害児会を育てる会へそれぞれ一〇万円。
- ▽(有)桃原建設(字小橋川88の8)福祉事業に役立てて下さいと、町社協へ一〇万三、二九九円。
- ▽美原幼児学園(与那城225番地)福祉事業に役立てて下さいと、町社協へ一万円。
- ▽在ペルー西原町人一同(呉屋ウメト、眞喜志節子、知念盛治、新垣ローサ、新垣清、長浜眞保、稲福次郎、稲福ローサ、稲福フアナ、稲福フリア、宮城盛光、小橋川栄徳、嘉手苺良信、嘉手苺信子)より沖縄訪問記念として町へ二万八千円。
- ▽在ペルーの嘉手苺良信・信子さん、沖縄訪問記念で町へ五万円。
- ▽在ペルーの小橋川栄徳さん、宮城盛光さんより沖縄訪問記念で町へ三万円。

訂正・お詫び

広報第224号での今年の米寿者の六区の仲宗根カミさんと嶺原カナさんの写真が逆になっております。
訂正しお詫び申し上げます。

わたしたちは、勤労感謝の心を養い、物を大切にしましょう。

「九州青年の船」に参加して



明 英 間 65 字内間

私は、今回行われた「日中友好九州青年の船」に参加し、良い思い出をつくり、ともに、貴重な体験をした。

この事業は「九州は一つ」という理念の基に、次代を担うたくましい九州青年の育成と中国での参観活動や中国青年達とのふれあいによって日中間の友好関係をより深めることを主目的に毎年行なわれており、今回で18回目を数える。

研修は、県内事前研修(2日)総合事前研修(熊本、3日)本研修(中国、13日)と3回行われ、長期間にわたるものであり、また、参加団員は二十代の青年男女各県四十四人単位で、総勢四百十六名という大がかりな研修である。

我々団員は多勢の人達に見送られ、大分港を後に中国・大連へ向け出航した。そんな中で私は、この長期間にわたる他県の青年達との集団生活の中でうまくやって行け

るのだろうかという不安で一杯だった。しかし、船が中国に近づいて行くと、船中の心も互いに近づいて行き、なんとなく以前から付き合いのあった友の様に感じられ、中国に着く頃にはそんな不安もどこかに消え、有意義な集団生活を送っていた。

中国では参観活動を通しての、中国青年達との交流によって中国の実状を知る事ができ、マスメデ

「他人を理解する大切さ」知る

IAでは知る事の出来ないいろいろな情勢を見聞きすることが出来る。彼らは国側から規制を受けているにもかかわらず、たくましく生きており、自国が選んだ道をほこりに一杯生きている姿が私には眩しく、また、歴史のスケールの大きさに自分のスケールの小ささを思い知らされた。

私はこの研修に参加して、新しい友人との出会いによって自分を国で感じた「他人を理解すること

の大切さ」を知ることが出来た事が最大の収穫であった。また、この研修に参加して本当に良かったと思う。

これからは、この研修で学んだことを糧にこれまで以上に地域や職場で積極的に活動に取り組み、みのある青年活動をしていきたいと思う。

自分に何か不足を感じている人、自分とは違った友人をつくりたい人は是非参加してみてもいいだろう

うか。きっといい思い出ができると思う。



九州八県の仲間と故宮博物館にて

：1990年9月

11月24日、25日に産業展示会

『平成二年産業展示会』が、町(平安恒政町長)主催、町農業協同組合・町普及事業連絡協議会・町花き同好会・町畜産組合後援により十一月二十四日(土)、二十五日の両日、西原町民体育館で、左記により開催されます。

これは、本町で生産される農産物、花き、果樹、農産加工品、手工芸等を一堂に展示、広く町民に公開、賞賛激励し、農家の生産意

欲の高揚を図り、地域農業の発展と振興に資することが目的。

展示会では、試食コーナー、野菜等の即売コーナーなど多彩なコーナーが設置される予定。

町民の積極的な参加で、本町の産業についての理解を深める機会になることを期待します。

※詳しいことについては、町産業課まで問い合せ下さい。
町産業課 ☎ 五五〇一三

“自分の健康は自分で守ろう”

健康まつり11月24日、25日

“自分の健康は自分で守ろう”をテーマに『西原町健康まつり』が、十一月二十四日(土)、二十五日(日)、西原町民体育館で、町(平安恒政町長)・町教育委員会(稲福恭助教育長)主催、町健康づくり推進協議会・町婦人会・町老人クラブ連合会協賛により開催されます。

「健康まつり」では、①住民健診②母子・薬草・禁煙コーナー等各種の催しを準備。

「見つめなおそう自分の健康、めざそうヘルスアップ」の精神で、自らの健康、家族の健康について今一度、確かめ合うため、『健康まつり』に参加しましょう。

これは、目で見える健康から体験(健診、操体、運動等)によって自らの健康状態を知り、自分で

※詳しい内容は、町保健衛生課まで。 ☎ 五五〇一三。

わたしたちは、つねに学び、文化の高いまちをつくりましょう。

年末調整説明会のお知らせ：平成2年11月19日(月)13:30～16:00、町中央公民館

和気あいあいと楽しくプレー

第一回西原町グラウンドゴルフ大会

町教育委員会(稲福恭助教育長)主催、第一回西原町グラウンドゴルフ大会が、十月十日「体育の日」に西原中学校グラウンドにおいて開催され賑った。



第1回西原町グラウンドゴルフ大会開催
：10月10日 西原中学校グラウンド

大会は、さわやかな秋晴れの下、小学生から高齢者まで百余名が参加、小学生、中・高生、婦人、一般男子、高齢者の部それぞれに分かれての十二ホールストロークプレーにより競技が行われ、どのチームも和気あいあいとした楽しいプレーを展開した。

本町では初めての大会にもかかわらず、一般男子の部では、かなりの優秀な成績をあげ、中にはホールインワンがとび出すなどの好プレーや珍プレーも続出、さわやかな汗をかき「体育の日」にふさ

わしい催しとなった。
なお、各部門ごとの上位成績者は、次の方々です。

第1回西原町グラウンドゴルフ大会成績表

男子	高齢者の部	一般男子の部	婦人の部	中学の部	小学校の部	氏名	得点	順位
高松	久高	宮城	伊礼	伊礼	喜屋	玉城	43	38
小松	喜屋	上地	上原	喜屋	又吉	新川	44	44
橋川	武山	久高	久高	喜屋	時宜	照原	46	44
太	千代	宮城	宮城	伊礼	成孝	里由	44	43
郎	ク	次郎	次郎	直樹	幸	誠也	43	38
副	副	副	副	副	副	副	副	副
員	員	員	員	員	員	員	員	員
39	38	37	36	36	35	6	5	4
3	2	1	6	5	4	3	2	1

※注：得点が高数の場合、年令、ホールごとの数が少ない方が上位になる。

税金相談コーナーについて

十一月十三日(火)に実施

国や県、市町村は、私たちが豊かで安定した暮らしができるように、いろいろな活動を行っています。

税は、国や県、市町村が活動するための大切な財源であり、私たちが共同生活を維持するための会費であるといえましょう。

今年も、広く皆さんに税の意義や役割を正しく理解し考えていただくため、「この社会あなたの税が生きている」をスローガンに十一月十一日から十七日まで「税を知る週間」とし、各種の行事が行われます。

本町でも、北那覇税務署や那覇

県税事務所、町税務課の三税共同で税金相談コーナーが、左記により開かれます。

税のしくみや課税、納税等税に関することでしたら、何でもご相談に応じます。

お気軽にご利用下さいますようお願いいたします。

記

日時 平成二年十一月十三日(火)

午前10時～午後4時

場所 西原町役場二階会議室

平成三年度幼稚園児募集

町教育委員会(稲福恭助教育

記

長)では、平成三年度の幼稚園児を下記により募集します。

☆受付期間及び場所
▽坂田幼稚園

入園を希望する方は、親子同伴のうえ指定の各幼稚園で入園

十一月二十日(火)
午後二時～四時

手続をしていただきますようお願い

十一月二十日(火)
午後二時～四時

知らせいたします。

十一月二十日(火)
午後二時～四時

なお、手続には該当児童の住

十一月二十日(火)
午後二時～四時

民票抄本も必要です。

▽西原東幼稚園

十一月二十日(火)

十一月二十日(火)
午後二時～四時

詳しくは、町教育委員会(

学校教育課) 〇五―三六五六ま

で問い合せ下さい。

〇五―三六五六ま



消火訓練、年二回以上義務づけ

九月一日から施行

消防法施行規則の一部を改正する省令(平成二年自治省令第二十三号)が平成二年七月二十七日に

公布され、平成二年九月一日から施行されることになった。

今回の改正は、出火時の初期消火の重要性にかんがみ、特定防火

対象物(集会所、劇場、病院、遊技場等)に対して、消火訓練を年

二回以上実施し、事前にその旨を

準備器具の能力や作動時の状況について体験させることとしている。

※尚、詳細について知りたい方は、

東部消防本部予防課まで

〇九八九四(五)―二二〇〇

税金相談コーナー、お気軽にご利用下さい。

平成2年11月13日(火) 午前10時～午後4時 町役場2階会議室

平和を求めて……

『平和に関する論文・作文作品より』

西原高校三年 高江洲 牧子

今、私達の学校では、6・23に向けての、いろいろな行事が催されています。宮良ルリさんの講演会、壁新聞コンクール、6・23特設授業など、戦争や平和についての関心が高まっています。

戦争体験の風化が進む中、私達は戦争の悲惨さ、その時の人間の醜さなど次の世代へ受け継いでいかなければなりません。その為には、戦争についての様々な事実を知る必要があるのです。

私達の住むこの西原町でも、数々の空襲を受け、多くの何の罪もない人達が、被害にあったと言われています。沖縄駐屯主軸第32軍が首里にあった頃、その前戦防衛基地であった西原は、かなりの激戦地だったそうで、その中でも運

玉森を中心とした地域は、物凄く悲惨な戦いとなり、多くの人命を奪ってしまったということです。西原町での戦没者の数は、五、一〇五人にも登り、西原町民のなんと四六・九%も占めているのです。

私は、初めてこの事実を目にした時、本当に驚いてしまいました。約半数の人々が、あの忌まわしい戦争により殺されてしまったのですから……。しかも、沖縄戦の場合、軍人よりも住民が、何万人も上回って多いというのですから残酷です。

しかし、この残酷な戦争は勿論、西原町だけでなく、各地域で行われていたのです。その中で思わず目を逸らさずにはいれなかったものは、住民虐殺と言う日本兵の手により行われていたもので、赤ん坊が泣けば敵に見つかると言って、頭をピストルで撃ち殺したり沖縄人が方言をしゃべると、スパイ扱いし、次々に殺していったというのです。しかも、スパイ容疑をかけられたのは一人だけではなく、多くの沖縄人が、スパイという濡れ衣を着せられ、その屈辱感と、苦痛の中で虐殺されていたのです。沖縄人は、戦争中このような偏見の前提の上になり立っていた

のです。私は、とてもくやしい思いでした。なぜ、沖縄の人は、そこまで差別を受けていたのでしょうか。同じ日本人なのに、味方なのに、なぜそのような苦痛を味わわなければならなかったのでしょうか。

また、沖縄の人々に対する悲劇はこれだけではなく、集団自決と言って、この世の地獄を絵に書いたような、それはそれは恐ろしいものだったという事です。母親は、死にきれずに苦しむ我が子を棒で殴り殺し、夫は妻の首を絞め、友は友と殺し合ったり……と、戦場では人間が人間でなくなり、凶暴な野獣となるのが容易なことだったのです。私は宮良ルリさんのお話の中の「私は戦争のない時代に生まれたかった。」という言葉

を思い出して、実感しました。本当にそうなのです。戦争ほど無残で残酷な行いがあるでしょうか。これは、人間であるという事実を無視し、思考力を持たない牙の生えた動物になってしまったも同様の行為なのです。許せないことです。この責任は、善良な国民をこのように、教育した国にあると思います。自分達の扱いやすいように、

軍人並の教育をしてきたのです。軍事教育とは、全く恐ろしいもので、「捕虜になって、恥かし目を受けること無かれ。」と自決をさせたり、「国の為に死ねない奴は、非国民である。」とのしつたり、一番驚いたのは、「兵隊、もしくは住民は、死ぬ時は、『天皇陛下万才』と言わなければならない。」と言ったふうな、今ではとても考えられないようなことが、当たり前のようになされていたのです。

離れ離れの家族や友人のことを、思う間もなく死んでいくなんて、なんと哀れでしょう。なんと無情なことでしょう。当時国民の命は、これ程にしか扱われていなかったのです。命を、虫けら同様に扱われ、その上、軍隊の命令には、何事にも従わなければならず、壕や食糧、そして我が子の命まで奪われ、まさに、地獄の日々を送っていたのです。先生や友人から話を聞いたたり、本を読んだりしても、日本兵の傲慢さ、横暴さが目につきます。日本軍は、米軍の軍事資力の巨大さを知らず、同時に、自国の戦力の乏しさに気づかず、自らの無知により、勝敗を決めてしまっていたのです。

しかし、もし日本が戦争に勝っていたとしても、死んだ人々は帰って来ないのです。何のための戦争なのでしょう。人間を殺し合う勝ち負けなど競って、一体何になるのでしょうか。人間の体、そして心に深い傷跡を残し、国々が荒れ果て、何の利益もない戦争に、何の意味があると言うのでしょうか。私達はもっと考えるべきです。平和な世の中がいかに大切かと言うことを……。今、実生活の中で、幸福を感じることが出来ます。それは、まさしく、この世が平和だからなのです。

しかし、沖縄本島にはアメリカ軍基地があり、日本の自衛隊が存在する以上、本当の意味での平和は、なされていないということにもなります。取り繕った上辺だけの平和に、満足してはいけません。宮良さんのお話の中にもありましたが、当時、宮良さんは、私と同じぐらいの年でした。それなのに、青春を楽しむこともなく、ただ、ただ、空襲警報のサイレンに怯え、時には、爆弾に追われて逃げ回り、傷ついた兵士を看護して、傷口にわくうじを取ったりと、想像するだけで毛が立ってしまうよ

わたしたちは、だれにも親切にし、互いに助け合いましょう。

うな、苦しい生活体験をして来たのです。食べる物もなく、乾いた喉を潤すことも出来ず、きつと豊かな現在に生きる私達には、想像のし得ない光景だったのでしょうか。私自身、一番恐怖を感じたところは、やはり、空襲の様子を、お話しして下さったところです。爆弾が雨のように降って来ては、一面赤々と燃え上がる焼け野原となり、一瞬にして、灰色の町と化してしまったそうです。見渡す限りモノクロの世界が広がり、死体の転がる血の海を彷徨し歩き、どんなにか恐ろしかったことでしょう。私達がいくら、怖いと思っても、実際に、体験したわけではないので、実感として湧いてくることはありません。が、しかし、このような体験談を聞いたり、読んだりすることにより、これからの平和を築いてゆくカギを見つけ出すことができるのです。

また、当時、山の中に隠れて生活をしていた人達の間で、マラリヤという病気が流行したそうですが、これは二三日もの長い間悪寒に襲われ、その後四〇度以上の高い熱で苦しみ、赤ん坊や、年寄りといった抵抗力のない者は死に至るというものでしたのです。このような戦場を誰が肯定し、美化することが出来ましょう。再び、我が子を戦場へ送らない為に、口に出すのも卑しいあの悲劇を、世に語り継いでゆこうとなさる体験者の人達の為にも今後一切このような誤ちが起つてはならないのです。私達若者の手で、本当の意味での平和を作り上げて行くよう努力する姿が大切なのです。たとえ今は無力でも、これから二十一世紀を担う私達にとっては、十分過ぎる程大きな課題となるでしょう。

米ソ間の軍縮が現実となった今が世界で平和を叫び合う時なのです。唯一、地上戦となった沖縄にとつて米ソの軍縮をきっかけに、基地の縮小、あるいは撤去など具体化し、平和を現実のものとして考えていけるチャンスなのです。私達が、これからの平和に対してどれだけ努力出来るかが大きなポイントとなってくるでしょう。世の中が平和になれば、それに勝るものはないと言っても、過言ではないような気がします。それだけ、「平和」という言葉の裏のはかりしれない力の大きさを感じることが出来るのです。殺し合いという非人間的行為を平気でさせてしまう戦争を、二度と繰り返してはならないのです。



町婦人会が環境美化コンクールを実施
：10月1日 嘉手苅

棚原が最優秀賞に輝く

町婦人会・環境美化コンクール

最近では、本土の人達も沖縄の沖縄には「命どう宝」という言葉があります。これは、「命こそが最も大切である。」という意味なのです。私はこの言葉をもつ沖縄が、平和の宝庫だと考えます。そして私達は、あまりに大きな代償を払って得たこの言葉を大事に守っていくべきなのです。共に戦争を憎み、平和を愛し、命の尊さを知り、私達の世界を守ってゆければと思います。平和を求めて……

「環境美化コンクール」を開催し、同生活部（平敷エイ子部長）を中心に、町内全地域の一次審査から二次審査を経て、十月一日までの最終審査を行なった。

今回の美化コンクールは、花や木の管理状況や緑と花いっぱい運動、下水・排水溝の清掃、道路、遊び場などの清掃及びゴミ処理状況等を対象に採点した。

町婦人会では、チリ回収車の回数を減らす運動と合わせ、家庭内からのゴミを百グラムでも少なくする「チリダイエット運動」を今

後、展開したいとしている。

なお、今回の美化コンクールで最優秀成績を挙げた地域を、中部地区の環境美化コンクールへ本町代表地域として推薦することになっている。

審査の結果は、全支部から一次、二次審査の結果、七支部が最後の審査対象となり、成績は次の通り。

【環境美化コンクール成績表】

最優秀賞・棚原
優秀賞・嘉手苅・小波津団地
優良賞・幸地・上原・桃園

年金相談コーナーの開設について

日時 平成2年11月15日 午前10時～午後4時
場所 西原町役場2階会議室
内容 国民年金に関する相談及び納付相談、厚生年金に関する相談、船員保険に関する相談等について浦添社会保険事務所との合同により相談を受けますのでお気軽にお越し下さい。

第2回浦添地区国民年金大会が下記により開催されますので町民の御参加をお願い致します。

日時 平成2年11月28日 午後2時
場所 西原町中央公民館

わたしたちは、緑を豊かにし、美しいまちをつくりましょう。

11月(しもつき) (霜月) 町政カレンダー

☆家族プランを入れて活用下さい。

日	旧暦	潮汐	行事予定
1(木)	9/14 仏滅	☉ 5:41 ☽ 11:41 ☼ 17:43	
2(金)	15 大安	☉ 0:07 ☽ 6:27 ☼ 12:19 ☼ 18:15	町社協食事サービス 10:00 町中央公民館
3(土)	16 赤口	☉ 0:49 ☽ 7:13 ☼ 12:59 ☼ 18:52	第1回 西原町文化祭
4(日)	17 先勝	☉ 1:31 ☽ 8:00 ☼ 13:40 ☼ 19:28	第1回 西原町文化祭
5(月)	18 友引	☉ 2:14 ☽ 8:49 ☼ 14:19 ☼ 20:07	行政懇談会 20:00 幸地・棚原公民館
6(火)	19 先負	☉ 3:01 ☽ 9:40 ☼ 15:04 ☼ 20:51	行政懇談会 20:00 徳佐田・上原公民館
7(水)	20 仏滅	☉ 3:52 ☽ 10:37 ☼ 15:56 ☼ 21:41	心配ごと相談 14:00 町社会福祉センター 行政懇談会 20:00 翁長公民館・小波津センター
8(木)	21 大安	☉ 4:49 ☽ 11:43 ☼ 17:00 ☼ 22:41	
9(金)	22 赤口	☉ 5:54 ☽ 13:00 ☼ 18:34	町社協食事サービス 10:00 町中央公民館
10(土)	23 先勝	☉ 0:05 ☽ 7:09 ☼ 14:16 ☼ 20:16	
11(日)	24 友引	☉ 1:53 ☽ 8:27 ☼ 15:16 ☼ 21:33	
12(月)	25 先負	☉ 3:25 ☽ 9:35 ☼ 16:00 ☼ 22:25	
13(火)	26 仏滅	☉ 4:34 ☽ 10:26 ☼ 16:37 ☼ 23:07	行政懇談会 20:00 小橋川・小那覇公民館
14(水)	27 大安	☉ 5:24 ☽ 11:08 ☼ 17:06 ☼ 23:44	心配ごと相談 14:00 町社会福祉センター 行政懇談会 20:00 兼久公民館・9区事務所
15(木)	28 赤口	☉ 6:07 ☽ 11:45 ☼ 17:36	年金相談コーナー開設 10:00 町役場

日	旧暦	潮汐	行事予定
16(金)	29 先勝	☉ 0:16 ☽ 6:45 ☼ 12:17 ☼ 18:02	町社協食事サービス 10:00 中央公民館
17(土)	10/1 仏滅	☉ 0:49 ☽ 7:18 ☼ 12:50 ☼ 18:32	
18(日)	2 大安	☉ 1:18 ☽ 7:54 ☼ 13:20 ☼ 19:00	沖縄県知事選挙投票日 7:00
19(月)	3 赤口	☉ 1:51 ☽ 8:26 ☼ 13:53 ☼ 19:32	
20(火)	4 先勝	☉ 2:22 ☽ 9:01 ☼ 14:25 ☼ 20:01	
21(水)	5 友引	☉ 2:57 ☽ 9:39 ☼ 15:00 ☼ 20:35	心配ごと相談 14:00 町社会福祉センター
22(木)	6 先負	☉ 3:32 ☽ 10:19 ☼ 15:39 ☼ 21:10	
23(金)	7 仏滅	☉ 4:11 ☽ 11:06 ☼ 16:26 ☼ 21:55	町社協食事サービス 10:00 町中央公民館
24(土)	8 大安	☉ 4:57 ☽ 12:00 ☼ 17:28 ☼ 22:52	西原町健康まつり 13:00 平成2年産業展示会14:00
25(日)	9 赤口	☉ 5:52 ☽ 12:59 ☼ 18:48	西原町健康まつり 9:00 平成2年産業展示会 9:00
26(月)	10 先勝	☉ 0:11 ☽ 6:57 ☼ 13:58 ☼ 20:08	
27(火)	11 友引	☉ 1:48 ☽ 8:07 ☼ 14:50 ☼ 21:15	
28(水)	12 先負	☉ 3:16 ☽ 9:15 ☼ 15:37 ☼ 22:11	心配ごと相談 14:00 町社会福祉センター 第2回浦添地区国民年金大会 14:00 町中央公民館
29(木)	13 仏滅	☉ 4:28 ☽ 10:14 ☼ 16:20 ☼ 23:01	
30(金)	14 大安	☉ 5:27 ☽ 11:07 ☼ 17:02 ☼ 23:49	



第26回県身体障害者スポーツ大会本町出場者

氏名	住所	種目	成績
大城 英光	小橋川196-3	砲丸投	1位
玉那覇俊雄	嘉手苳32-7	100メートル走	2位
糸数ノリ子	翁長65	ソフトボール投	2位
玉那覇春子	嘉手苳137-2	ソフトボール投	2位

障害を克服、四名が上位入賞

第二十六回沖縄県身体障害者スポーツ大会が、九月二十三日、浦添市陸上競技場を主会場に開かれた。

この大会は、身体障害者がスポーツを通じて、機能の回復と体力の維持増強を図り、自らの障害を克服し、希望と勇気をもってたくましく生きていく能力を育てるとともに、身体障害者に対する一般社会の正しい認識を深めてもらうことを目的に催されたもの。

スポーツ大会は、陸上、卓球、水球、アーチェリー競技で開かれ本町より陸上競技に五名の選手が挑戦、四名の選手が見事上位入賞を果たした。

入賞者は、次の方々です。

わたしたちは、スポーツに親しみ、健康の増進につとめましょう。